

Mランドニュース Vol.207

丹波ささ山校 令和6年7月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 前川 昂希
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

意志あるところに
道は開ける

(エイブラハム・リンカーン)

創立記念日

管理者 永見倫幸

五月二十七日、お陰様で篠山自動車教習所は、創立六十二年を迎えることができました。

創立記念式典では小河吉彦会長の講演で、コロナ禍でのギクシャクとした人間関係に、人と人との繋がりがも分断され、縁の希薄化を感じた日々を過ごす中で、コロナ禍後、「心豊かな」人間関係を創っていく為に、Mランドがこれから目指していく方向性について述べられ、あらためて「詩舞奏演」に込めた想いや、Mランドは「愛の心を育むコミュニティの創造」がコアグループのミッションであることを我々にお話しされました。

【詩】日常を丁寧に生きることそのものが美しい詩
【舞】世の為、人の為に華麗な舞のように立ち振る舞う
【奏】相手を思い発する言葉は心地よい旋律を奏でる
【演】新しい発想と行動でプラス思考な社会を思い描き人生を演じ続ける

社員一同、小河会長の講話をしっかりと受け止め、あらためて気持ちを一つにしました。

式典の後には、全社員が参加する祝賀会が催され、まずグループを代表して、(株)益田クッキングフーズ代表取締役社長・内谷重信様にご祝辞と乾杯のご発声をいただき、おいしい食事を囲みながら歓談のひと時を楽しみました。



記念日を祝って乾杯!!

コロナ禍で数年間こうした集まりが出来なかったこともあり、社員一同の絆をより一層深める貴重な時間となり、和やかな雰囲気の中で、六十二年の成果を振り返りながら共に祝いました。

創立六十二年を迎え、篠山自動車教習所をここまで支え、繋いでいただいた先輩方、ご支援いただいた関係各

所の皆様、そしてお客様に感謝するとともに、これから私たちがこの歴史ある会社を未来へと繋いでいけるよう、皆で心をひとつに進んでまいります。

ピンクのバラに思いを込めて

顧客・環境課

課長 石橋 学

創立記念日にあわせ、ゲストの皆さまに感謝の気持ちを伝えるためにできることはないかと考え、「ピンクのバラ」を作成することに決めました。

「ピンクのバラ」を作成しようと思った理由は、花言葉にあります。ピンクのバラの花言葉は「感謝」です。数多く存在する自動車学校の中から、Mランドを選んできただけのことへの感謝の気持ちを、手作りのピンクのバラに込めたいと思い、皆で作成することにしました。

いざ作ろうと決めたものの、もちろん素人なので、材料を何にすればよいのかも分からず、頭を悩ませました。そんな折、いつものように仕事を終えて帰宅すると、私

の妻と子供が頑張っており紙を折っていました。なんのために折っているの?と聞くと、妻の職場のイベントで高齢者の方にプレゼントするため折っているとのことでした。ヒントをもらった私は、インストラクターにおり紙でピンクのバラの花束を折ってもらい、感謝の気持ちをゲストに伝えようと決めました。

早速、必要なものを用意し、YouTubeの動画を参考に自宅で練習しましたが、慣れないおり紙になかなか苦戦を強いられました。(笑)

そして五月二十七日、インスタクターに、おり紙でピンクのバラを作るに至った経緯と方法を説明し、花束作りが始まりました。最初はたった一輪のバラを作るのに相当な時間がかかりましたが、数をこなすことに慣れ、動画や説明を聞かなくても作れるようになっていきました。また、おり紙の工程ごとに、作業を分担し協力することで、会話や笑顔も増え、とても良い雰囲気を取り組めました。

最初は慣れないおり紙にどうなるかと不安もありましたが、ピンクのバラの花びら

一枚ずつに私たちのゲストへの感謝の気持ちを込め、大輪の花を咲かせることができました。



思いが届きますように!!

完成した花束はゲストが宿泊される三つの宿泊施設(ホーム)に飾ります。この花束を見かけたときに、ゲストの皆さまが笑顔になり、ほっこりしていただけたら嬉しく思います。【感謝】



感謝をたくさん詰め込みました!!

若い力と共に

共習・共育部

部長 南勝 宏幸

六月三日から五日間実施されたトライやるウィーク。Mランドには丹波篠山市立篠山中学校から、五名の中学生にお越しいただきました。例年よりも数多くお越しただけで、若い活気があふれ、充実した五日間になったと感じております。

最初は緊張されていましたが、少しずつ緊張がほぐれ、将来の目標や夢を話してくれるようになり、「社会に出ていくうえで、中学校生活では何を大切にすれば良いですか?」という質問を投げかけてくれました。この中学生の問いかけに対し、Mランドのルールでもある「あいさつを大きな声でする事を大切にして下さい」と返答しました。

事においても自分一人だけでは不完全な部分や、不得手な所も多くあること、そのようなときに仲間を助けてもらっていることや、知らず知らずのうちに誰かに助けてもらっていること、反対に誰かを助けていることがある事も併せて伝え、Mランドの「こころの成長」をサポートする取り組みについてのお話もさせていただき、実際に「近隣の清掃」や「ありがとうカード」を実践していただきました。特に「ありがとうカード」については、書く相手はどなたでも構わないので、日頃の感謝の気持ちや文字にして、毎日書いていただきました。その他にも運転体験やメンテナンス、合宿施設の清掃など、様々な業務の体験を通していただきましたが、中学生の素直で前向きな姿に感心すると同時に、彼らの仕事に向き合う姿勢から、たくさんのことを学ばせていただきました。

「あいさつ」はすべての事の始まりであること、コミュニケーションをとるきっかけになること、友達や職場での信頼関係を構築していくうえで、「あいさつ」が非常に大切になってくること、また、何

私はこの体験で、あいさつでお客さんがどのような気持ちになるのか、どのように掃除するとお客さんが気持ちよく過ごせるのかを教えてくださいました。



気持ちよく運転できますように

また、社会人にとって素直にアドバイスを受け入れることは、とても大切なことと身をもつて感じました。将来仕事に就いたならば、自分から積極的にあいさつができて、お客さんの喜ぶようなキレイな施設を維持できる人になります。またアドバイスを素直に受け入れられるようになりたいです。

丹波篠山市篠山中学校

二年生 竹内 奏都



ひたむきな竹内さんの姿勢に感謝

トライやるウィークを通して、若い方々と共に学び成長出来る事、この場所があるからこそ貴重な経験を積める事に感謝を忘れず、これからも地域の皆さまと共に成長していきます。

ペットボトルキャップで助けられる命があります

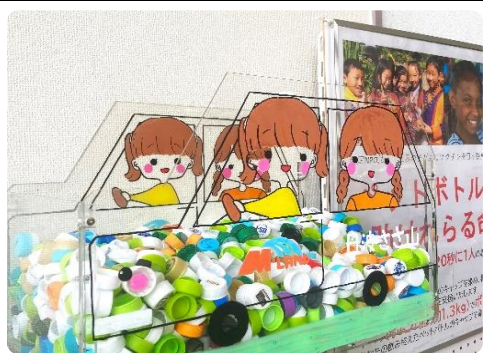
昨年から、「SDGs」の取り組みの一環として、ペットボトルキャップを回収しております。

昨年十一月に行われたMランドフェスタで、職員をはじめ参加者の皆さまや地域の皆さまにご協力をいただき、ペットボトルキャップを回収し、約五十五kg(二万九千八百個)を超えるキャップをお預かりすることができました。これは、ポリオワクチン

四十七人分に相当します。フェスタでお預かりしたペットボトルキャップは「NPO法人世界のこどもにワクチンを日本委員会」様に寄付させていただきます。

昨年のフェスタだけで終わってしまうのではなく、今後皆さまと一緒にこの活動を継続していきたいと考え、廃材の亚克力板を再利用し、車の形をしたペットボトルキャップ回収箱を作成しました。(かわいいイラストは、ミロのスタッフが描いてくれました)

透明の回収箱なので、集まってくる様子も楽しみながら、ペットボトルキャップの回収にご協力いただければと思います。



「助けられる命があります」

手作り感が満載ですが、私たちの思いを少しでも多

くの方々と共有できれば嬉しく思います。Mランドはこれからこの活動を応援して参ります。

編集後記

支えてくださる皆さまのおかげで、創立六十二周年をこうして迎えることができ、Mランドは成長を続けられています。本当にありがとうございます。

七月十日、十一日と人生初めての「富士登山研修」に参加してきます。初めての富士登山になるので、今からワクワクしています。

次号で、皆さまに富士登山研修の様子をご紹介します。できればお待ちしております。

前川 昂希

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしませんか?

- 場所 Mランド
- AM8:00~AM9:00

※トイレ掃除のできる服装でお気軽にご参加ください。